

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動学実習		(理) 必修 (福.人) 選択	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
大塚 篤也 他	D318	a.otsuka		水曜日 15:00-16:00	
授業の目的・概要	臨床現場において患者の運動障害を分析するための基礎となる、生体の仕組みを理解することを目的とする。運動学に係る実習を行い、得られたデータを分析し、論理的思考を身につけるとともに、実験レポートの作成方法を習得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	講義では、臨床現場で使用する様々な機器を実際に使用し、測定を行う。得られたデータを目的、方法、結果、考察に分けレポートにする。運動学 I・II で学習した内容を復習しておくことが望ましい。				
教科書	基礎運動学 第6版 補訂 /著：中村隆一 他 /医歯薬出版 /2003 症例動画でわかる理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト /編：豊田輝 /羊土社 /2021				
参考書	動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践. 石井慎一郎. メジカルビュー社. 2013				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	生体の運動学的・生理学的反応に関する知識を深め、説明できる。			HSU(2)、PT(3)	
②	実習を通じて運動学的計測手法について理解する。			HSU(2)、PT(3)	
③	実習結果を運動学的に分析し、身体運動・動作の特徴や仕組みを理解する。			HSU(2)、PT(3)、(6)	
④	実習結果をまとめることができる。			HSU(2)、(5)、PT(2)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	運動学実習の総論について学ぶ。 [担当;大塚]	講義			0
2	運動学実習の総論について学ぶ。 [担当;大塚]	講義			0
3	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
4	座位、立位姿勢を観察し、姿勢のアライメントを理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
5	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
6	起居動作を観察し、姿勢、関節運動を理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
7	異なる条件での立ち上がり動作を観察し、動作の違いを考察する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
8	異なる条件での立ち上がり動作を観察し、動作の違いを考察する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
9	歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、正常歩行を理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
10	歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、正常歩行を理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
11	走る・跳ぶ等の応用動作から、姿勢、関節運動を理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0
12	走る・跳ぶ等の応用動作から、姿勢、関節運動を理解する。 [担当;大塚]	実習、講義			0

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)
13	スポーツ競技の動作から、姿勢、関節運動を理解する。 [担当；大塚]	実習、講義	0
14	スポーツ競技の動作から、姿勢、関節運動を理解する。 [担当；大塚]	実習、講義	0
15	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；駒形]	実習、講義	0
16	重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；駒形]	実習、講義	0
17	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	0
18	呼気ガス分析装置について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；大塚]	実習、講義	0
19	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；遠藤]	実習、講義	0
20	筋電計について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；遠藤]	実習、講義	0
21	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；関根]	実習、講義	0
22	筋力測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習する。 [担当；関根]	実習、講義	0
23	総括 [担当；大塚]	同時双方向型授業	0
試			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	30	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	20	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
評価方法	行動目標			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	各講義でリアクションペーパー(100%)の提出を求め、その内容を採点し、理解度を評価する。15回目～22回目においては、使用する機器に関連する問題や運動学に関する問題を出題し、理解度を問う。	授業時に解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	遠藤 悠介、駒形 純也、関根 聡美			
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。			
実践的授業の内容	運動器疾患などにおいてみられる典型的な動作を提示し、障害別の動作や運動の理解を促す。			
そ の 他	<p><b>実技授業：</b> 測定がしやすい服装で受講し、PC を持参すること。</p> <p><b>授業時のフィードバック、意見交換：</b> フィードバックは授業時間内で実施する。 意見交換の機会は授業時間内およびオフィスアワー内に実施する。</p> <p><b>注意事項：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業ごとに出席およびリアクションペーパーの提出を求める。</li> <li>受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生は退室してもらう。</li> <li>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。 問題がある場合は対面授業の参加は認めない。</li> <li>シラバスの内容は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況と授業の進行状況等を考慮して一部修正することがある。</li> <li>23 回目の講義は Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。</li> </ul>			